

# 岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2024年12月)

## 【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年11月27日現在)

<追加>

- P1【ソフトウェア】 セールスフォース(CRM)
- P2【ソフトウェア】 データドッグ(DDOG)
- P3【公益】 ビストラ(VST)
- P4【医薬品バイオ】 ギリアド・サイエンシズ(GILD)

<継続>

- P5【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P6【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P7【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P8【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P9【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P10【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P11【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P12【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)
- P13【医療機器】 インテューティブ・サージカル(ISRG)
- P14【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR(ARM)
- P15【半導体】 ブロードコム(AVGO)
- P16【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)
- P17【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
- P18【通信大手】 ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)
- P19【たばこ】 アルトリア・グループ(MO)
- P20【エネルギー】 キンダー・モルガン(KMI)

<追加>

- 顧客管理ソフトを中心に展開するクラウド専門の先駆者
- 企業内のITインフラを監視するソフトウェアを開発
- テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌
- HIV・がん治療などを開発する大手バイオ医薬品メーカー

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 肥満症薬で注目される米製薬大手
- 外科手術ロボット「ダビンチ」を開発・製造
- 省エネ型の半導体設計技術を提供
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- 動画配信の世界最大手
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
- 米携帯電話加入件数首位の通信大手
- 米国たばこ大手、配当による株主還元を重視
- 北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業

顧客管理ソフトを中心に展開するクラウド專業の先駆者

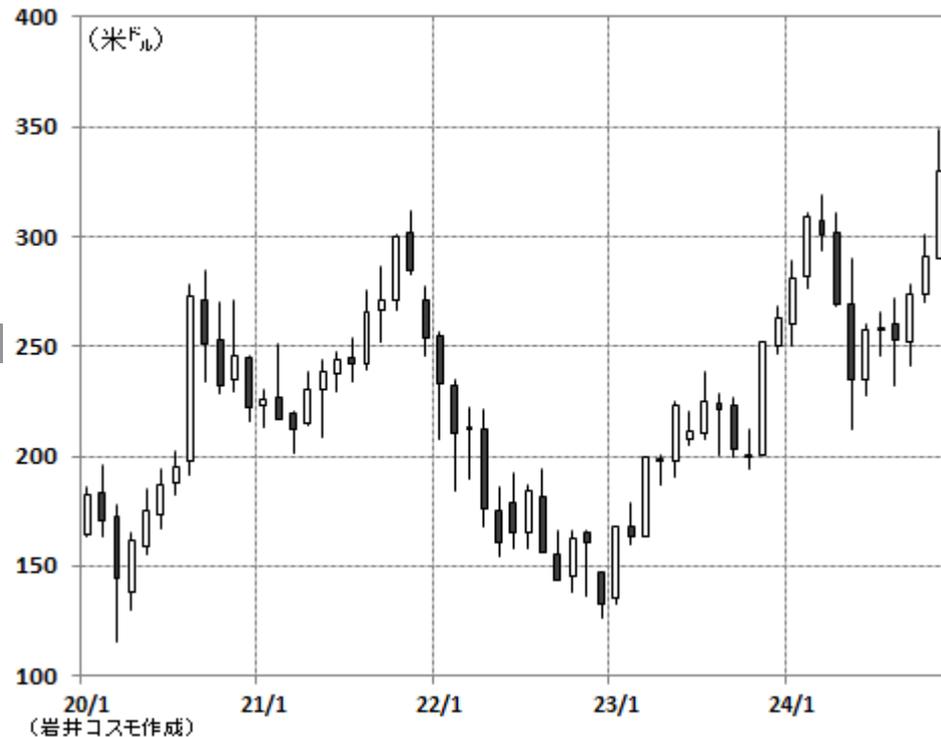
会社概要

ネット経由でソフトを企業に提供するクラウドコンピューティング・サービスの專業大手で先駆的存在。CRM(顧客管理)や營業支援ツールはクラウドベースで世界で最も利用され、日本ではトヨタ自動車、日本郵政Gなどが大手顧客。ほか中堅・中小企業まであらゆる業種・規模に対応。地域別売上構成(前期)は米州67%、欧州23%、アジア太平洋10%、99年設立、04年ニューヨーク上場、20年8月NYダウ工業株平均採用。

注目ポイント

**業容拡大、AIエージェント開始:** 營業支援・顧客管理を柱に複数のサービスを組み合わせた販売が奏功、カスタマーサービスやクラウドアプリ開発支援、マーケティング分野のクラウド事業も浸透中。内製AIと「チャットGPT」を統合し生成AI「インシュタイン」を導入、文書要約やメール作成を自動化。難しいデータ分析や意思決定も可能な顧客開拓・サポートツール「エージェントフォース」を24年に開始、1回の利用に2ドルを徴収する。

**収益性重視の経営にシフト:** 28年1月期に「売上成長率と純現金収支・対売上比(マージン)の合計」を50%達成を目標に据え、堅実成長と高い収益性の両立を図ることを目指す。今25年1月期は8.6%増収+マージン32.8%≒41%の見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	330.01 ( 11/27 )
52週高値(日付)	348.73 ( 24/11/12 )
52週安値(日付)	212 ( 24/05/30 )
時価総額	3,155億ドル 47兆6,673億円
株価変化率(%)	22.3 (過去6ヶ月間) 46.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	54.4 (倍)
株価売上高比率	8.8 (倍)
PBR	6.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.48 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	9.7 (%)
株式ベータ	1.36 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	營業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	31,352	18	1,030	88	208	-86	0.21	0.00
2024/01	34,857	11	5,011	4.9倍	4,136	20倍	4.20	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	營業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q2	8,603	—	1,476	—	1,267	—	1.28	0.00
2025/Q2	9,325	8	1,783	21	1,429	13	1.47	0.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

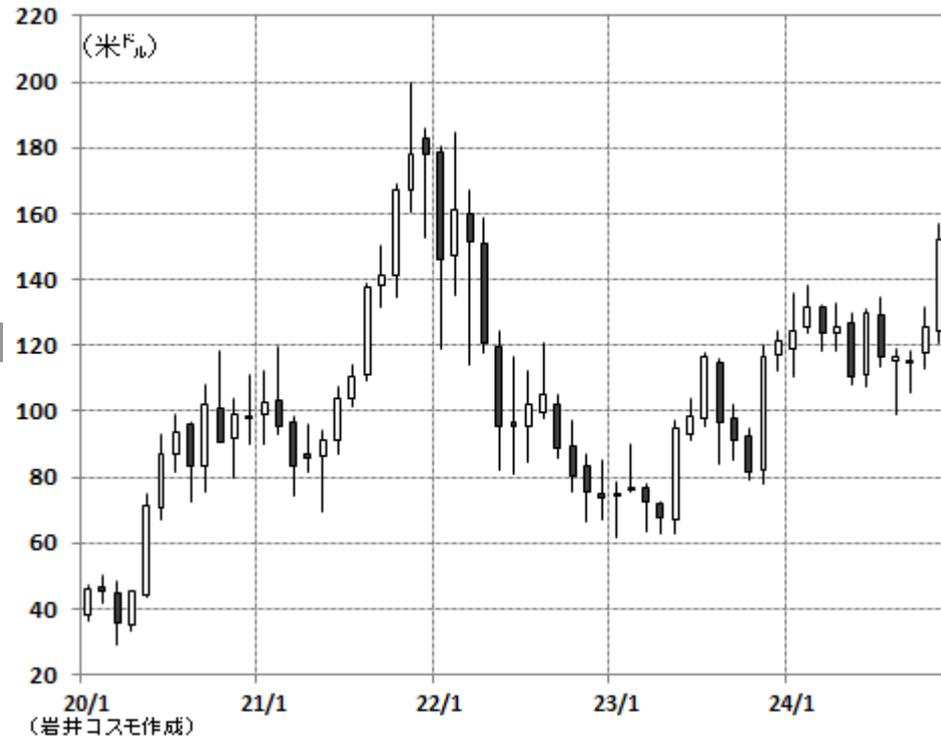
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

クラウドベースの監視・分析のプラットフォーム(可観測性ツール)を提供する。社内ITのセキュリティや安定運用を目的にリアルタイムでITインフラやアプリの動作状況のモニタリング、ネットユーザーのアクセス等の状況を把握・管理でき、業務の統合・自動化に貢献。監視対象は、クラウドやオンプレミス、ハイブリッド環境など種類を問わない。本社はニューヨーク、2010年設立、19年9月にナスダック上場、21年12月にナスダック100指数採用。

注目ポイント

- 「1か所で全てを監視」、大口顧客増加: 同社製品はシステムを横断して監視し、プログラム制御やバグ追跡が可能。24年9月末の年間契約10億ドル超の大口顧客は1年前比12%増の3,490社、海外ではショッピングファイ、エアビーズ、日本ではNTTドコモ等が同社顧客。
- 企業のAI利用による製品需要の増加期待: 企業がクラウド環境でAIを実装する機会が増え、データ送信時の監視の必要性が高まり、大規模言語モデル対応型等の製品の引き合いがあるとした。データドッグは可観測性ツール市場でシスコシステムズ傘下のスプラック等が競合にあるが、市場調査で優位に立っている。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	151.96 ( 11/27 )
52週高値(日付)	157.165 ( 24/11/26 )
52週安値(日付)	98.8 ( 24/08/05 )
時価総額	516億ドル 7兆7,892億円
株価変化率(%)	24.4 (過去6ヶ月間) 33.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	286.0 (倍)
株価売上高比率	20.0 (倍)
PBR	19.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	8.7 (%)
株式ベータ	1.35 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	1,675	63	-59	赤継	-50	赤継	-0.16	0.00
2023/12	2,128	27	-33	赤継	49	黒転	0.14	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	548	—	-4	—	23	—	0.06	0.00
2024/Q3	690	26	20	黒転	52	128	0.14	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

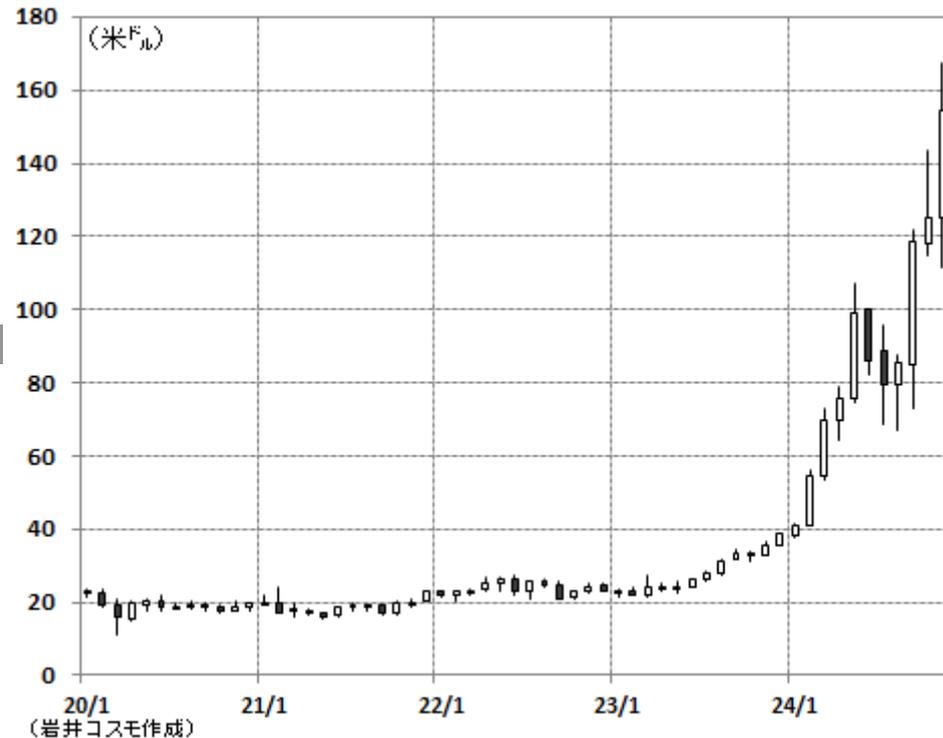
会社概要

テキサス州拠点のエネルギー会社。子会社を通じて電力・天然ガスの小売販売に従事。ほか原子力・天然ガス・太陽光等の発電事業も手がける。全米20州とコロンビア特別区でサービスを提供。小売事業は子会社であるTXUエナジーなど5社がテキサス州中心に展開。一方、発電事業はビストラが天然ガス/原子力/再生可能エネルギー等の発電施設を運営、最終的にゼロカーボン発電を目指す。S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□**M&Aで原子力発電所取得**: 24年3月に同業のエナジー・ハーバ-の買収し、米東部の原発施設3カ所(発電能力約4,000メガワット相当)を取得。独立系電力会社の原子力発電所保有数でコンステレーション・エナジーに次ぐ第2位となり、発電能力に占める原子力の割合が高まった。

□**米国で注目される原発**: AI利用増によるデータセンターの電力需要の高まりが注目され、温暖化ガスを排出しない、24時間365日、安定的に電力供給できる「ベースロード電源」としての原子力発電が見直されている。また24年から原発発電量に応じた税控除の優遇措置も追い風。マイクロソフトとアマゾンとは長期電力購入契約を締結済みであるほか、他のIT大手とも初期協議中(7-9月期決算)であるとした。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	154.52 ( 11/27 )
52週高値(日付)	167.52 ( 24/11/21 )
52週安値(日付)	34.88 ( 23/11/29 )
時価総額	526億ドル 7兆9,431億円
株価変化率(%)	45.5 (過去6ヶ月間) 338.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	52.5 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	17.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.57 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	8.1 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	61.9 (%)
株式ベータ	1.12 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	13,728	14	-1,177	赤継	-1,377	赤継	-3.26	0.7240
2023/12	14,779	8	2,661	黒転	1,343	黒転	3.58	0.8210

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	4,086	—	834	—	465	—	1.25	0.2130
2024/Q3	6,288	54	2,588	3.1倍	1,840	4.0倍	5.25	0.2215

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ギリアド・サイエンズ(GILD)

HIV・がん治療などを開発する大手バイオ医薬品メーカー

会社概要

米バイオ医薬品メカ。抗HIV(エイズ)薬に強み。B・C型肝炎、高血圧、がん等が研究対象。今世紀に入り、高い完治率を誇るC型肝炎治療薬を発売。2017年に患者の細胞を活用するCAR-T療法のがん新薬を開発する米カイト・ファーマを買収。2019年に欧州医薬品開発企業ガラパゴスと提携を強化。1987年設立、1992年ナスダック公開、本社はカリフォルニア州フォスターシティ、従業員数は約18,000名(23年末)。

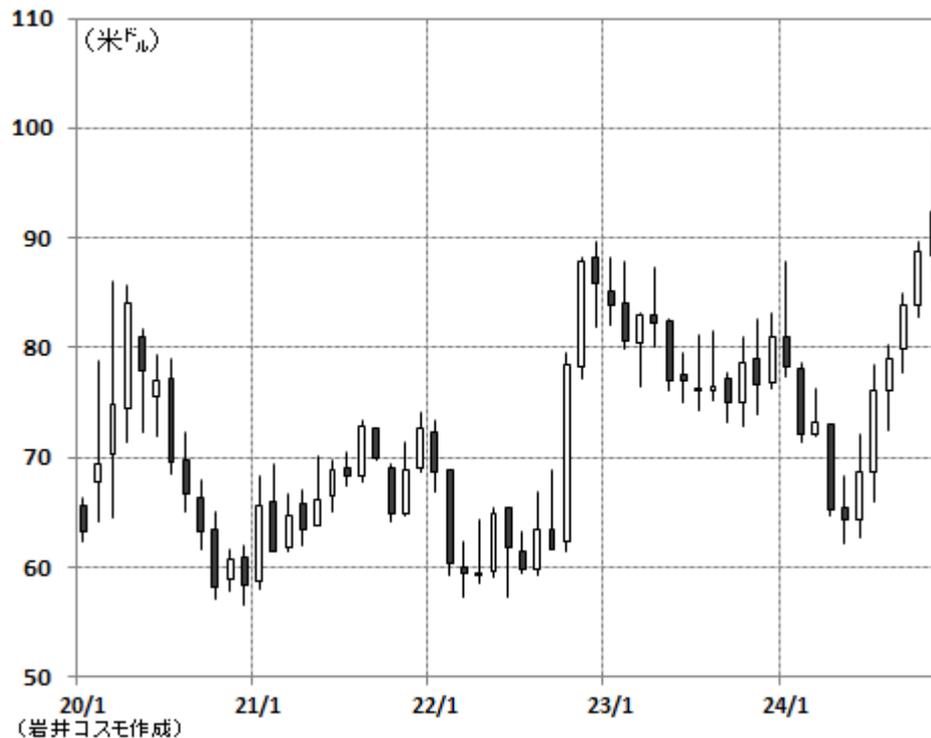
注目ポイント

□ **収益の多角化が進む**：コロナ禍では新型コロナ抗ウイルス薬「レムデシビル」が一時貢献も、現在は販売が減少傾向にある。近年はがん治療分野を強化。M&Aを通じて血液のがん患者から採取した免疫細胞に遺伝子を入れ、がんへの攻撃力を高める「CAR-T」療法や、乳がん治療薬「トロテルビシ」などが新たに製品群に加わった。24年にはシマヘイ社を買収、原発性胆汁性胆管炎の治療薬「リブデルシ」を取得。

□ **HIV予防治療薬に注目**：得意分野の抗HIV分野は主力薬の「ビクタビル」の好調が続く。また年2回の投与で効果が持続する長時間作用型のHIV予防の「レナカピビル(治療薬・注射剤)」の新薬承認に期待が高まっている。

上場市場  
ナスダック

セクター  
バイオ医薬



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	92.41 ( 11/27 )
52週高値(日付)	98.9 ( 24/11/11 )
52週安値(日付)	62.07 ( 24/05/31 )
時価総額	1,152億 <sup>ドル</sup> 17兆4,006億円
株価変化率(%)	44.5 (過去6ヶ月間) 24.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.0 (倍)
株価売上高比率	4.1 (倍)
PBR	6.2 (倍)
税前提当利回り(%)	3.33 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	2.7 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	0.6 (%)
株式ベータ	0.71 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2022/12	27,281	-0	7,330	-26	4,592	-26	3.64	2.92
2023/12	27,116	-1	7,605	4	5,665	23	4.50	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2023/Q3	7,051	—	2,623	—	2,180	—	1.73	0.75
2024/Q3	7,545	7	888	-66	1,253	-43	1.00	0.77

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **次世代GPU出荷**: 11-1月期に次世代GPUブラックウェルがサンプル出荷から通常出荷に移行、売上は数十億を上回る見込み。現在フル生産で需要超過は著しいとした。多くの企業がAIツール利用中、今年度のAIソフトウェア/サポート収入は年換算20億ドルを超えると見通した。25年1月6日に見本市CESでファンCEOが基調講演を行う予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	135.34 ( 11/27 )
52週高値(日付)	152.89 ( 24/11/21 )
52週安値(日付)	45.01 ( 23/12/04 )
時価総額	3兆3,145億ドル 500兆7843億円
株価変化率(%)	18.8 (過去6ヶ月間) 183.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	53.3 (倍)
株価売上高比率	29.4 (倍)
PBR	50.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	75.0 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	127.2 (%)
株式ベータ	1.81 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	0.17	0.016
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	1.19	0.016
四半期業績								
2024/Q3	18,120	—	10,417	—	9,243	—	0.37	0.004
2025/Q3	35,082	94	21,869	110	19,309	109	0.78	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

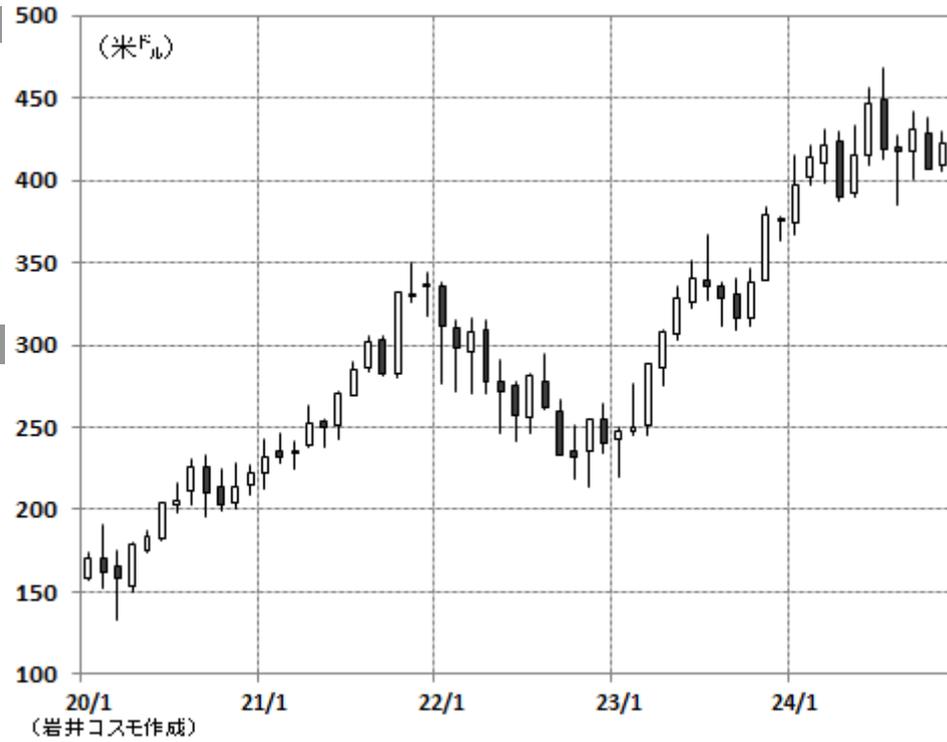
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。7-9月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸びは、3割超を維持。10-12月期にAIビジネスの年換算収入は100億ドルを超える見込みとし、今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込んでいる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	422.99 ( 11/27 )
52週高値(日付)	468.33 ( 24/07/05 )
52週安値(日付)	362.9 ( 23/12/04 )
時価総額	3兆1,449億ドル 475兆1600億円
株価変化率(%)	-1.7 (過去6ヶ月間) 10.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.7 (倍)
株価売上高比率	12.4 (倍)
PBR	10.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.78 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	10.4 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	35.6 (%)
株式ベータ	1.03 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q1	56,517	—	26,895	—	22,291	—	2.99	0.68
2025/Q1	65,585	16	30,552	14	24,667	11	3.30	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

**□ アイパッドとサービス収入で堅調業績:** 4-6月期は前年同期比5%増収、8%最終増益。 아이폰 販売の小幅減収を新型アイパッド販売や音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。7-9月期の増収率見通しは同5%程度(市場予想4%)。9月20日に発売開始の 아이폰 16は新型チップセットA18を搭載、本体側面にカメラ操作ボタンを追加、販売価格(米国)は799ドルから、初回の出荷動向に注目。

**□ アップル版生成AI(英語版)開始:** 独自のAI「アップル・インテリジェンス(英語のみ)」は10月に文書要約等の一部サービスがスタートした。オープンAIのChat GPTと統合や音声AIのSiriの機能進化、画像生成AI、カスタム絵文字などの重要機能は12月以降に提供開始の予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	234.93 ( 11/27 )
52週高値(日付)	237.49 ( 24/10/15 )
52週安値(日付)	164.08 ( 24/04/19 )
時価総額	3兆5,512億ドル 536兆5448億円
株価変化率(%)	23.7 (過去6ヶ月間) 23.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.8 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	62.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.43 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	4.2 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	157.4 (%)
株式ベータ	1.05 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.94
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	89,498	—	26,969	—	22,956	—	1.46	0.24
2024/Q4	94,930	6	29,591	10	14,736	-36	0.97	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

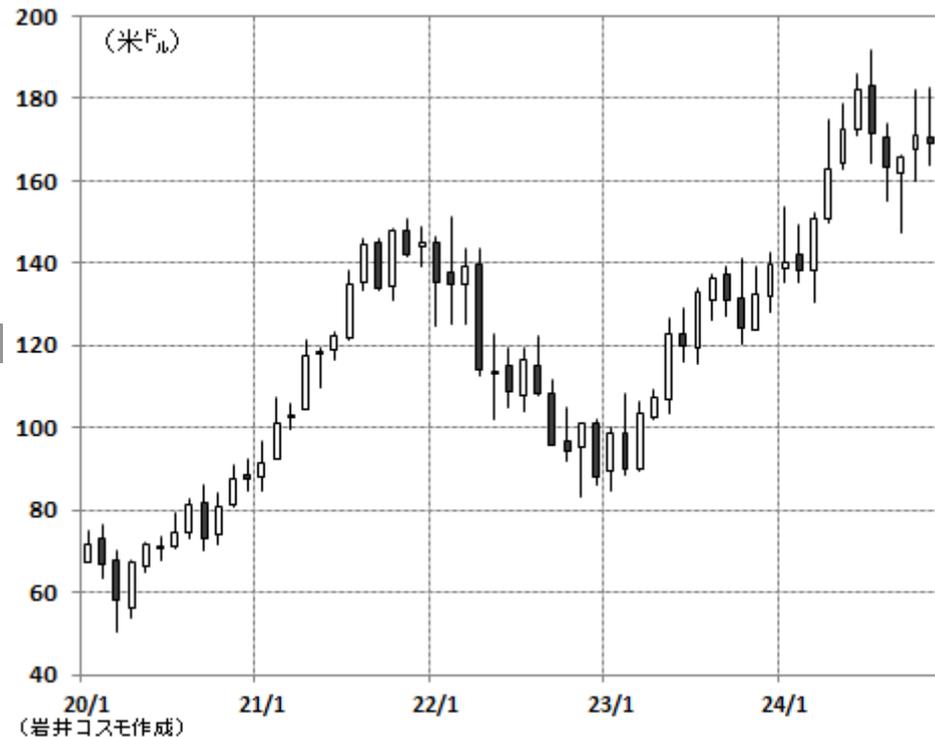
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は181,269人(24年9月末)。

注目ポイント

□**生成AI製品効果でクラウド事業が急成長**：7-9月期決算は4四半期連続で広告収入が2桁成長を達成、売上・利益は市場予想を上振れ着地。生成AI製品や各種ビジネスソフトが収益貢献したクラウド事業は売上・利益の成長が加速した。新型スマホ「ピクセル9」は機器販売の伸長に寄与。ほか米国の複数都市で商業運転を行う自動運転車事業のウェイモのロボタクシーの有料乗車は、週15万回に達している等とした。

□**米司法省との争い続く**：ネット検索を巡り反トラスト法に反しているとし、米司法省は11月20日にウェブ閲覧アプリ「クロム」の売却やアップル製品の検索デフォルト設定の禁止等の是正策を提案した。12月20日に最終提案、修正後の最終提案が25年3月7日に予定される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	169.23 ( 11/27 )
52週高値(日付)	191.75 ( 24/07/10 )
52週安値(日付)	127.9 ( 23/12/04 )
時価総額	2兆0,810億ドル 314兆4229億円
株価変化率(%)	-4.1 (過去6ヶ月間) 23.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	21.9 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.47 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	32.1 (%)
株式ベータ	1.11 ( 対S&P500 )

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	76,693	—	21,343	—	19,689	—	1.55	0.00
2024/Q3	88,268	15	28,521	34	26,301	34	2.12	0.20

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

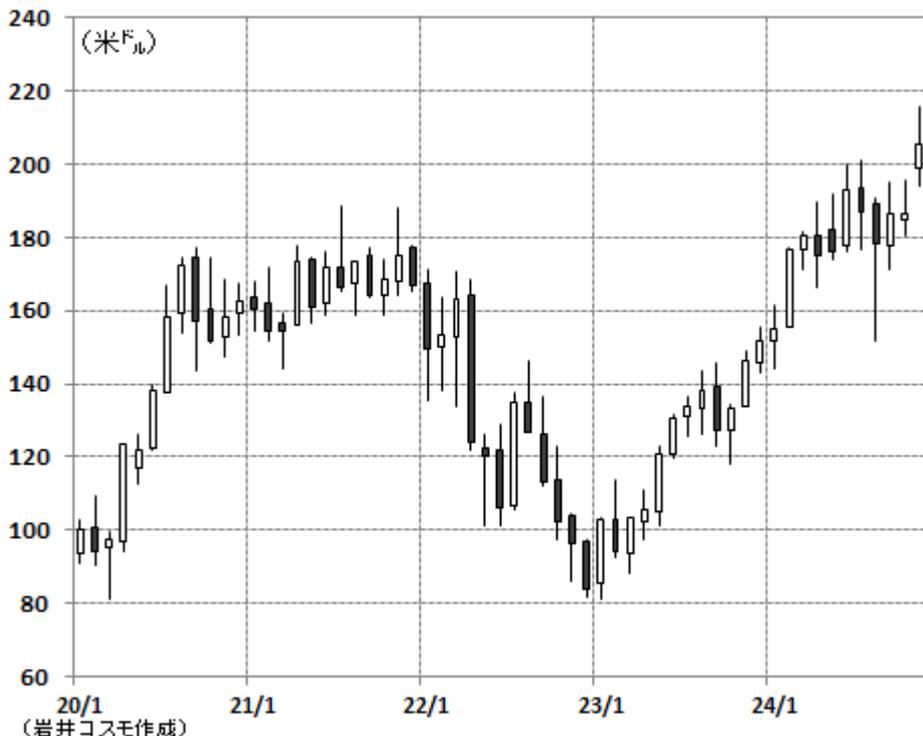
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWSが高成長・ネット通販が収益性改善**：7-9月決算は前年同期比55%最終増益。企業のAI利用を追い風にAWS(クラウド)事業は19%増収・50%営業増益となり、営業利益の6割を稼いだ。小売事業は商品販売数が同1割伸びシェア拡大が続く。配送効率の上昇により営業利益率は北米・海外とも改善傾向にある。また広告収入は同19%増と堅調に推移、売上全体の9%を占めた。

□ **格安品のネット販売開始**：アマゾンは11月13日、衣類・家庭用品・宝飾品中心に20ドル以下の販売コーナー「アマゾン・ホール」を開始、中国のテイム、シーインなどの競合に対抗する。配達まで1~2週間かかるが、米国顧客に広東省東莞市の施設から直接商品を安く発送する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	205.74 ( 11/27 )
52週高値(日付)	215.88 ( 24/11/14 )
52週安値(日付)	142.81 ( 23/12/04 )
時価総額	2兆1,634億ドル 326兆8618億円
株価変化率(%)	13.0 (過去6ヶ月間) 39.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	42.5 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	8.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	22.6 (%)
株式ベータ	1.21 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
四半期業績								
2023/Q3	143,083	—	11,188	—	9,879	—	0.94	0.00
2024/Q3	158,877	11	17,411	56	15,328	55	1.43	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

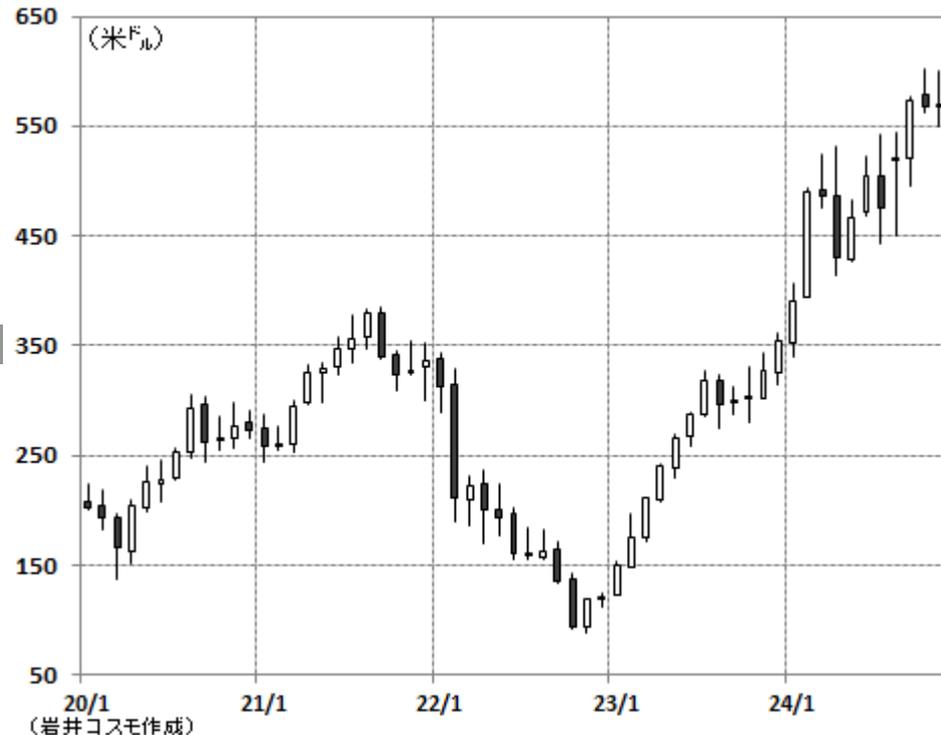
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で32.9億人(24年7-9月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約72,404人(24年9月末時点)。

注目ポイント

**□ 広告収入の好調維持:** 7-9月期の前年同期比・増収率は+19%と好調維持。短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。大規模言語モデル技術をSNSコンテンツの推奨機能に活用して視聴時間の増加に結び付けているとした。SNS上ではAIアシスタント「メタAI」が米国中心に展開され、音声対話・画像対応が強化され、その月間利用者数は4億人を突破した。

**□ スレスズに広告導入か:** 11月13日に短文投稿アプリ(X・旧ツイッター) 似の「スレスズ」に広告を導入する計画と一部メディアが報じた。「スレスズ」の最新の月間利用者数は2.75億人と急速に伸びている。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	569.2 ( 11/27 )
52週高値(日付)	602.9 ( 24/10/07 )
52週安値(日付)	313.67 ( 23/12/04 )
時価総額	14,375億ドル 217兆1849億円
株価変化率(%)	18.6 (過去6ヶ月間) 67.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.8 (倍)
株価売上高比率	9.3 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税前提当利回り(%)	0.35 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.1 (%)
株式ベータ	1.20 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
四半期業績								
2023/Q3	34,146	—	13,748	—	11,583	—	4.39	0.00
2024/Q3	40,589	19	17,350	26	15,688	35	6.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

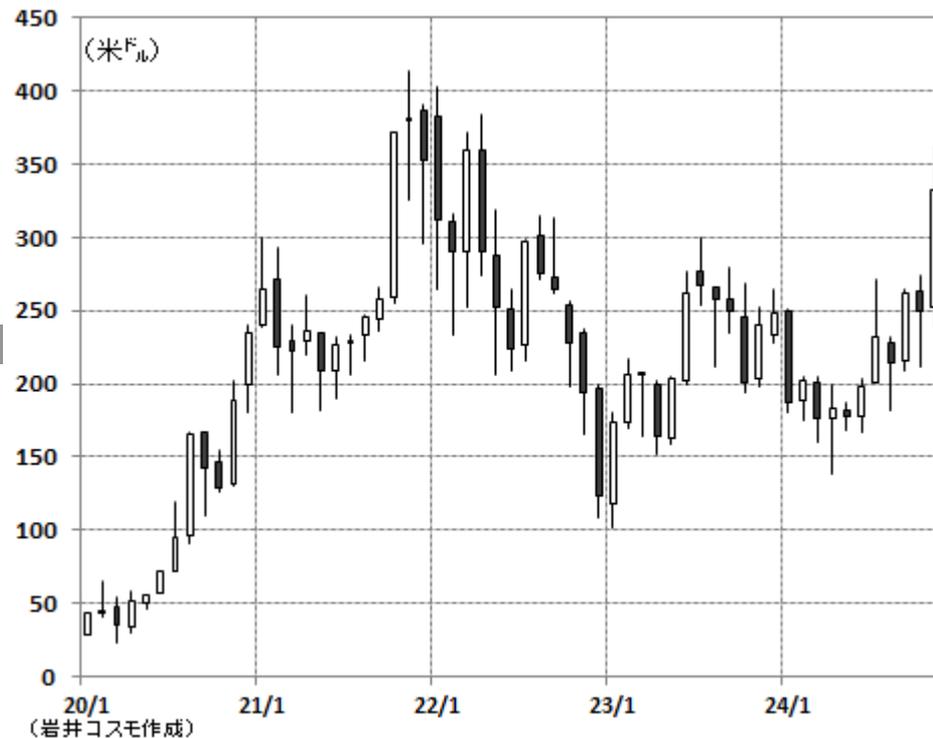
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **納車台数見通しを上方修正**：7-9月期はEVの原価低減で粗利益が改善し、大幅営業増益。EV生産は47万台と4-6月の41万台から回復、今期納車台数の伸び率を前年比大幅減から若干増加に上方修正した。25年上期投入の「次世代低価格車」は順調とし、マスク氏は来期納車台数は概算で前年比20~30%増を見込むとした。

□ **自動運転車規制の緩和を検討か**：トランプ次期米大統領政権移行チームが自動運転車規制の緩和を検討と11月18日に報じられた。テスラは25年にカリフォルニア州とテキサス州で一般向けに自律走行型の配車サービス開始を計画であり、次期政権で政府効率化を主導することになったイーロン・マスクCEOは恩恵を受ける公算が高い。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	332.89 ( 11/27 )
52週高値(日付)	361.9 ( 24/11/25 )
52週安値(日付)	138.82 ( 24/04/22 )
時価総額	10,686億ドル 161兆4543億円
株価変化率(%)	88.3 (過去6ヶ月間) 34.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	158.0 (倍)
株価売上高比率	10.9 (倍)
PBR	15.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.6 (%)
株式ベータ	1.99 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	23,350	—	1,764	—	1,853	—	0.53	0.00
2024/Q3	25,182	8	2,717	54	2,167	17	0.62	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症薬に脚光

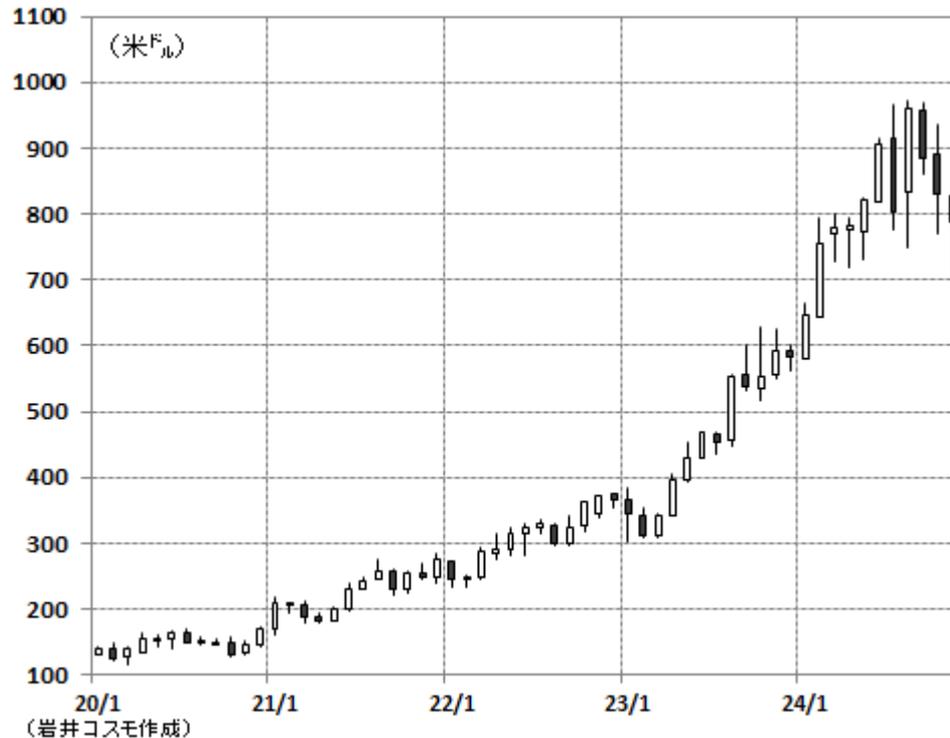
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヴェイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「セブパウンド」が業績のけん引役。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルド」と経口タイプの「オルフォルクリプロン」も開発中。24年7月にアルツハイマー型認知症薬「キンスラ」が米FDAの新薬承認を獲得した。

□ **不振決算も今後の拡大を見通す**: 7-9月決算は卸売業者の在庫管理上の混乱の影響で「マンジャロ」、「セブパウンド」販売が一時的に伸び悩み、不振決算となったが、需要の減退ではないとした。販促活動も奏功し10-12月期は盛り返し、来期の加速を見込むとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	788.19 ( 11/27 )
52週高値(日付)	972.24 ( 24/08/27 )
52週安値(日付)	561.65 ( 23/12/15 )
時価総額	7,482億ドル 113兆0518億円
株価変化率(%)	-2.4 (過去6ヶ月間) 33.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	60.0 (倍)
株価売上高比率	17.4 (倍)
PBR	52.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.66 (直近年率)
配当成長率(%)	15.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	65.7 (%)
株式ベータ	0.78 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績							
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益
2023/Q3	9,499	—	427	—	-57	—	-0.06
2024/Q3	11,439	20	1,588	3.7倍	970	黒転	1.07

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。24年3月に新型「ダ・ビンチ5」の医療機器認証を獲得

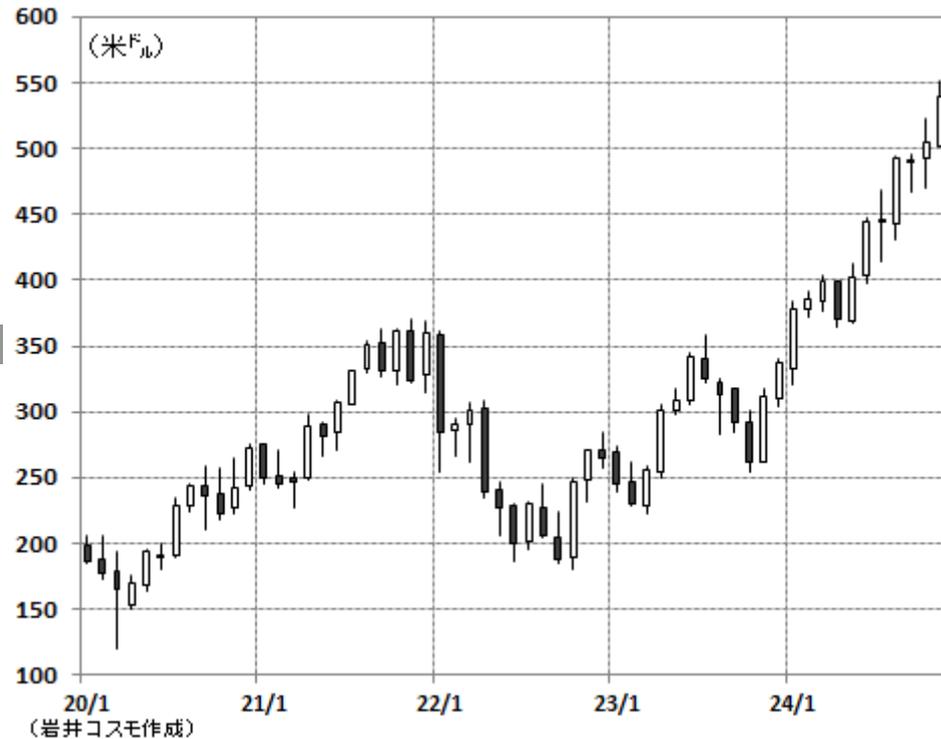
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。24年6月末の稼動状況は、全世界で9,203台。23年度の全世界の手術件数実績は約229万件。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約600台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **大幅増収増益決算が続く**: 7-9月期は前年同期比17%増収・24%営業増益。手術件数の伸びはヘルニア修復等の一般外科手術中心に同18%増を記録。新型「ダ・ビンチ5」を110台出荷したが、増産体制が整備され25年半ばに出荷が本格化される予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	538.55 ( 11/27 )
52週高値(日付)	552 ( 24/11/22 )
52週安値(日付)	304.5 ( 23/12/05 )
時価総額	1,918億ドル 28兆9,822億円
株価変化率(%)	34.3 (過去6ヶ月間) 73.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	86.1 (倍)
株価売上高比率	24.2 (倍)
PBR	12.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.09 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00
2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	1,744	—	466	—	416	—	1.16	0.00
2024/Q3	2,038	17	577	24	565	36	1.56	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

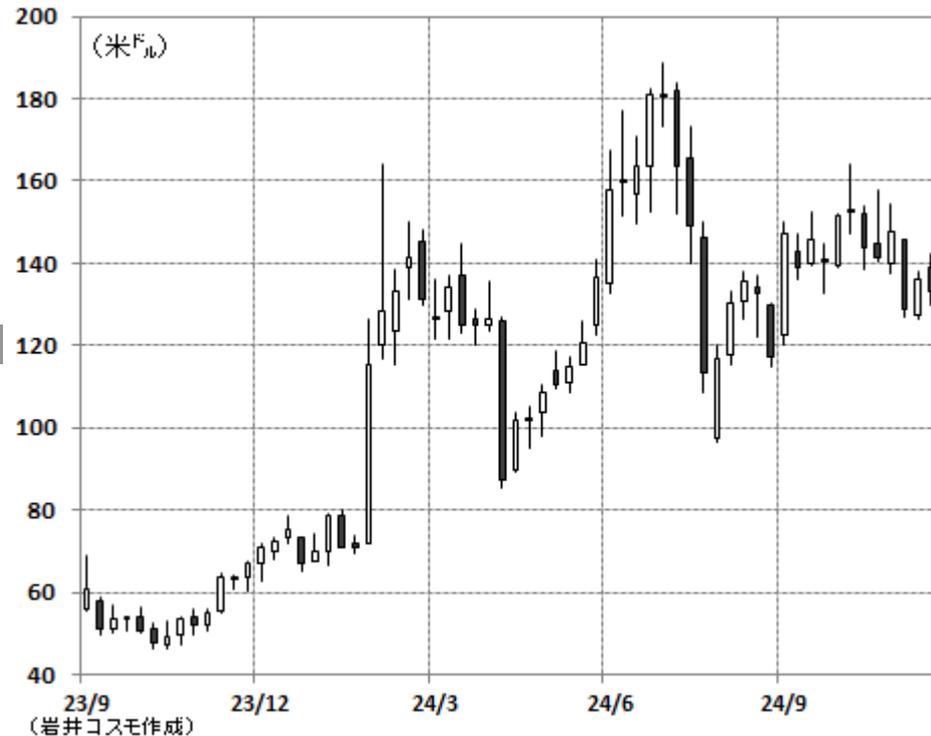
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサの設計技術を世界中の半導体メカ等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器などの様々な半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**：プロセッサの電力効率の高さが強みで自動車やサーバ/クラウド/IoT向けでも採用が拡大。22年の市場シェアはスマホ向けCPUで99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも20年の7.2%から10.1%へ上昇、エヌビディア製CPUやアマゾンやマイクロソフト等の自社製半導体でもアームの技術が活用され、成長に寄与する公算。最新の設計仕様ほど使用率が高く、収益性は高まる見込み。

□**クアルコムとライセンス使用で係争**：アームの大口顧客である米半導体大手のクアルコムとは契約違反と商標権侵害で係争中であり、10月22日にアーム側が60日間の猶予付きの解除通知を示し、再交渉に臨む模様。12月16日の裁判開始前に和解するのが焦点。



株価チャート (上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	133.37 ( 11/27 )
52週高値(日付)	188.74 ( 24/07/09 )
52週安値(日付)	60.4 ( 23/12/05 )
時価総額	1,402億 <sup>ドル</sup> 21兆1,786億円
株価変化率(%)	6.7 (過去6ヶ月間) 115.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	222.0 (倍)
株価売上高比率	39.2 (倍)
PBR	23.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	11.9 (%)
株式ベータ	— ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同期 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同期 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同期 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q2	806	—	-156	—	-110	—	-0.11	0.00
2025/Q2	844	5	64	黒転	107	黒転	0.10	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

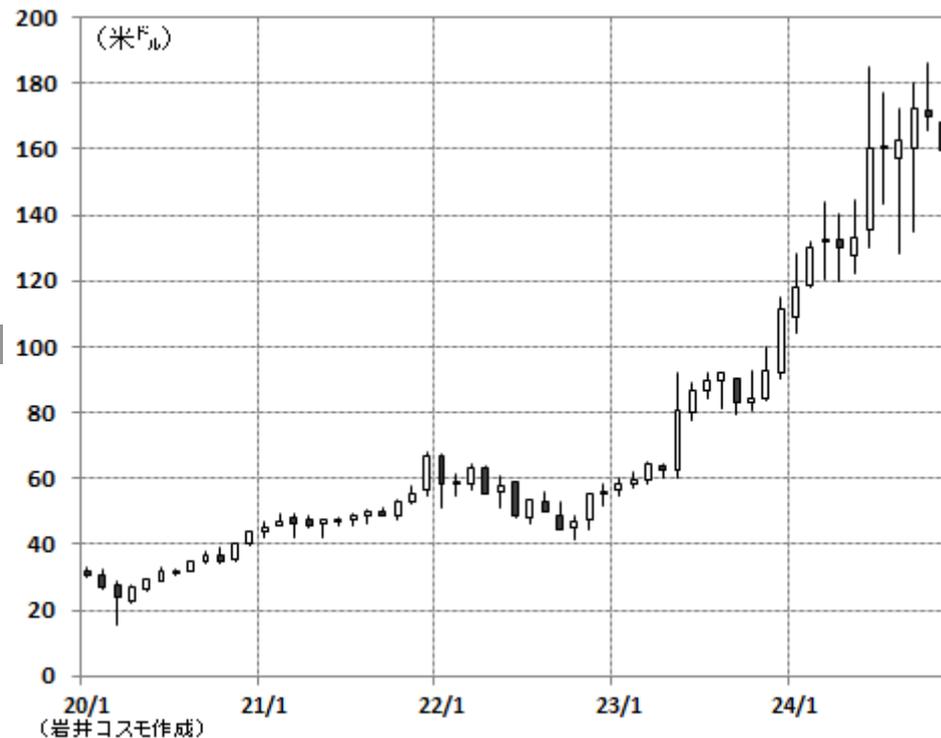
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**： 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **AI半導体需要の強さを確認**： データセンター投資の活発化を背景に第3四半期ではAI半導体売上の好調を確認、カスタムAIアクセラレータが前年同期比3.5倍、高速イーサネットスイッチ向けが同4倍以上、光通信用向けが同3倍の売れ行きだった。今年度のAI半導体の売上高見込みは120億ドルと、従来比10億ドル増額修正された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	159.67 ( 11/27 )
52週高値(日付)	186.42 ( 24/10/09 )
52週安値(日付)	90.311 ( 23/12/06 )
時価総額	7,458億ドル 1,12兆6,755億円
株価変化率(%)	13.0 (過去6ヶ月間) 68.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	62.8 (倍)
株価売上高比率	15.4 (倍)
PBR	11.4 (倍)
税前配当利回り(%)	1.33 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	14.4 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	11.6 (%)
株式ベータ	1.75 ( 対S&P500 )

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	2.65	1.640
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840

四半期業績

2023/Q3	8,876	—	3,856	—	3,303	—	0.77	0.460
2024/Q3	13,072	47	3,788	-2	-1,875	赤転	-0.40	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

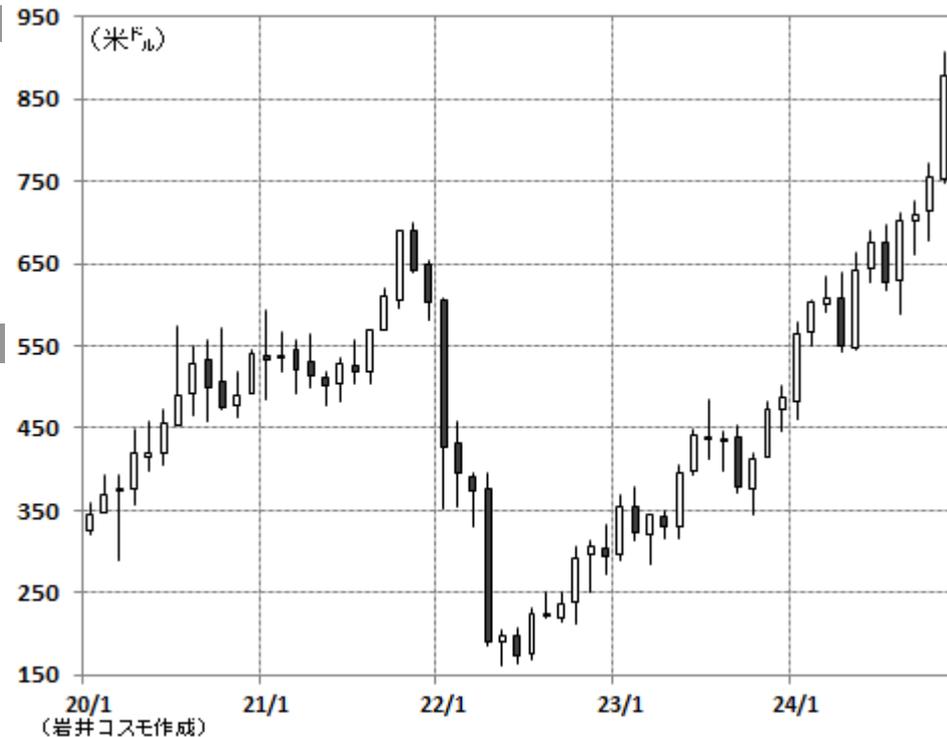
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年9月末時点の会員数は全世界で約2.83億人。

注目ポイント

**□ 広告販売強化:** 7-9月期は同会員数が前年同期比35%伸びた。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今後トレードデスクやグーグルも加わる。11月12日に広告付き格安プランの会員数が7,000万人に達したことを公表、25年末までに自社開発した広告配信技術を実装し広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定で25年通期では広告収入が倍増する見通し。

**□ スポーツ生配信に進出するなど内容充実:** 11月15日のボクシングのマイク・タイソンの復帰戦では6500万人の視聴者を獲得、クリスマスには歌手ビヨンセも出演するアメフトNFLの試合を初めて中継する。また世界的ヒットとなった「イカゲーム」の新シーズンは12月26日より配信予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	877.34 ( 11/27 )
52週高値(日付)	907.88 ( 24/11/21 )
52週安値(日付)	445.75 ( 23/12/06 )
時価総額	3,750億ドル 56兆6,627億円
株価変化率(%)	35.2 (過去6ヶ月間) 83.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	48.8 (倍)
株価売上高比率	10.1 (倍)
PBR	16.5 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	34.7 (%)
株式ベータ	1.21 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
四半期業績								
2023/Q3	8,542	—	1,916	—	1,677	—	3.73	0.00
2024/Q3	9,825	15	2,909	52	2,364	41	5.40	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

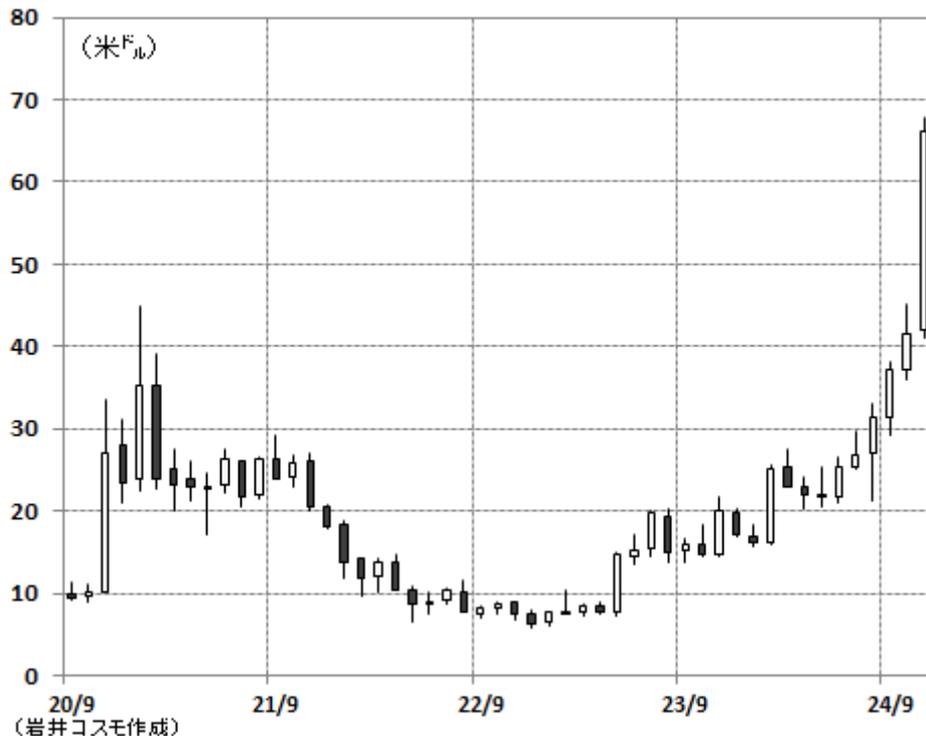
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレクサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。23年の政府・民間向け売上比率は55%:45%。23年末時点の顧客数は497社・団体。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用。

注目ポイント

□ **祖業はテロ対策**: 2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近では生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウントリ」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で幅広い業界で導入が進む。

□ **高成長要因**: ウクライナの戦争や中東紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービス需要の拡大が飛躍の要因とされる。ほか11月26日にナスダック市場に鞍替えした。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	66.05 ( 11/27 )
52週高値(日付)	67.56 ( 24/11/27 )
52週安値(日付)	63.9 ( 24/11/26 )
時価総額	1,504億ドル 22兆7,254億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	316.1 (倍)
株価売上高比率	55.5 (倍)
PBR	33.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	12.4 (%)
株式ベータ	— ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	1,906	24	-161	赤継	-374	赤継	-0.18	0.00
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	558	—	40	—	72	—	0.03	0.00
2024/Q3	726	30	113	3倍	144	2倍	0.06	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配当による株主還元重視する米携帯電話加入件数首位の通信大手

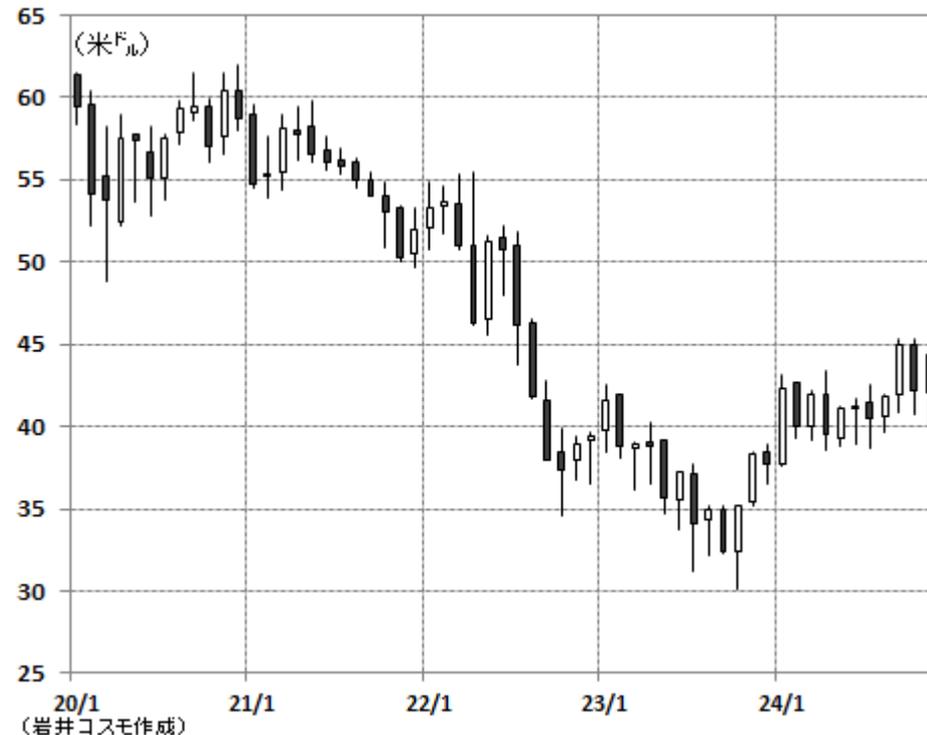
会社概要

固定・携帯通信双方を手掛け、消費者とビジネス向けにサービスを展開。同社は携帯加入者数首位で、TモバイルUS、AT&Tと並ぶ通信3強を形成。24年6月末の携帯端末(後払い方式)の契約件数は1.24億件。固定通信事業では消費者向けに音声通話・ネット回線等を法人向けにはデータセンター等も提供。本社はニューヨーク、社員数は約103,900名(24年6月末)。NYダウ工業株30種平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **サブスクリプションプランが奏功**: 23年より携帯電話向け新料金体系「マイプラン」を開始、オプション別の3種類の5G通信パケット無線通信プランからなり、月額プラス10ドルでアップルやディズニー+などの各社のサブスクリプションを利用でき、家族内でも個人単位で選択できる。好評につきインターネットのブロードバンド通信でも同様のサービスを24年に開始した。

□ **業界最長の増配を発表**: 9月4日に連続増配で米通信業界最長となる18年連続増配を発表、24年の設備投資額は前期比約1割減の170億~175億ドルの見込みと、配当の原資となるフリーキャッシュフローは創出しやすい。同社は配当による株主還元を重視している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	44.38 ( 11/27 )
52週高値(日付)	45.36 ( 24/09/30 )
52週安値(日付)	36.465 ( 23/12/13 )
時価総額	1,868億ドル 28兆2,271億円
株価変化率(%)	12.8 (過去6ヶ月間) 18.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	10.0 (倍)
株価売上高比率	1.4 (倍)
PBR	1.9 (倍)
税前配当利回り(%)	6.10 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	1.9 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	10.1 (%)
株式ベータ	0.62 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	136,835	2	30,467	-6	21,256	-4	5.06	2.5850
2023/12	133,974	-2	22,877	-25	11,614	-45	2.75	2.6350
四半期業績								
2023/Q3	33,336	—	7,473	—	4,762	—	1.13	0.6650
2024/Q3	33,330	-0	5,926	-21	3,306	-31	0.78	0.6775

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米国たばこ大手、配当重視の株主還元、代表的な高配当利回り銘柄

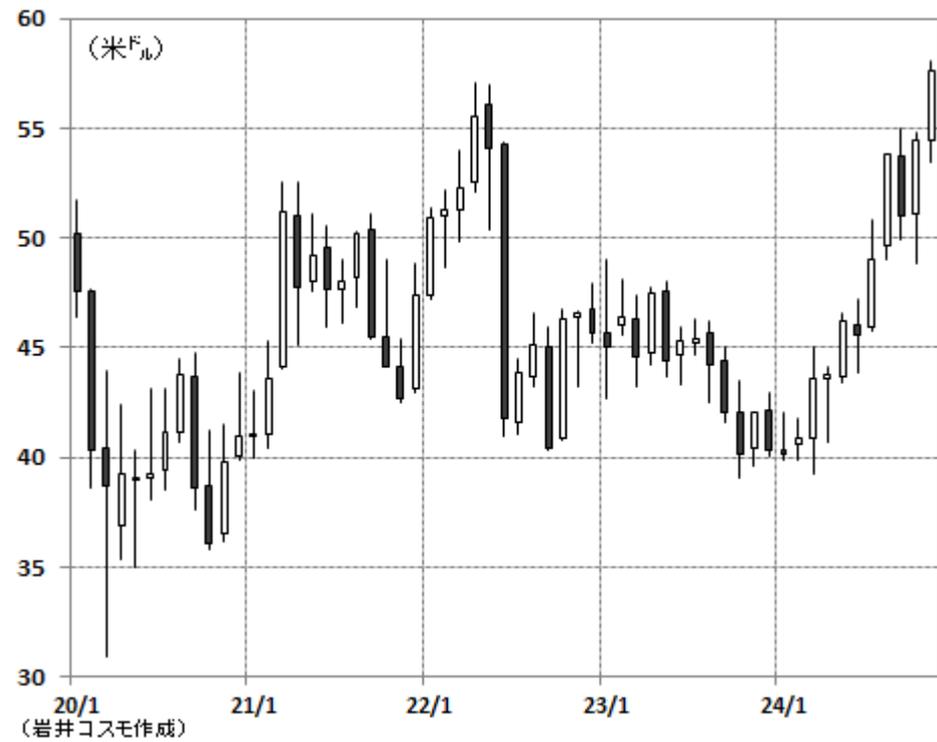
会社概要

1919年設立の米国たばこ大手、醸造会社などにも出資。2003年にフィリップモリスから現社名に変更。2007年に食品の旧クラフトフーズ、2008年に海外たばこのフィリップモリス・インターナショナルを分離。2022年に日本のJTとは加熱式たばこの合併設立(75%出資)。23年6月に電子たばこの新興企業「NJOY」を買収。本社はバージニア州リッチモンド、従業員は約6,400人(23年末時点)。

注目ポイント

□ **中期経営計画**：同社は21歳以上の米国の成人を対象にたばこを製造・販売、より害の少ないたばこ製品への移行を目指し、無煙たばこの販売数量を22年比最低35%増加させる考え。調整後1株利益や1株配当金を2028年までの年平均成長率で「1桁台半ば」を目標とし、配当性向約80%の株主還元方針を持つ。

□ **高い配当利回り**：健康志向を背景にした紙巻たばこの販売数量の減少を値上げで補っている事、健康被害・受動喫煙問題等で複数の訴訟を抱える事、ESG投資家の忌避等から株価収益率が低く、相対的な配当利回りが高い。配当利回りの高い銘柄は、一般的に債券代替投資の対象として金利低下で魅力を高める特徴がある。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	57.65 ( 11/27 )
52週高値(日付)	58.03 ( 24/11/27 )
52週安値(日付)	39.26 ( 24/03/04 )
時価総額	977億ドル 14兆7,624億円
株価変化率(%)	26.8 (過去6ヶ月間) 37.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.2 (倍)
株価売上高比率	4.9 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	7.08 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	4.2 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	0.45 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	25,096	-4	11,919	3	5,764	133	3.19	3.68
2023/12	24,483	-2	11,547	-3	8,130	41	4.57	3.84

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	6,281	—	3,089	—	2,166	—	1.22	0.98
2024/Q3	6,259	-0.4	3,152	2	2,293	6	1.34	1.02

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

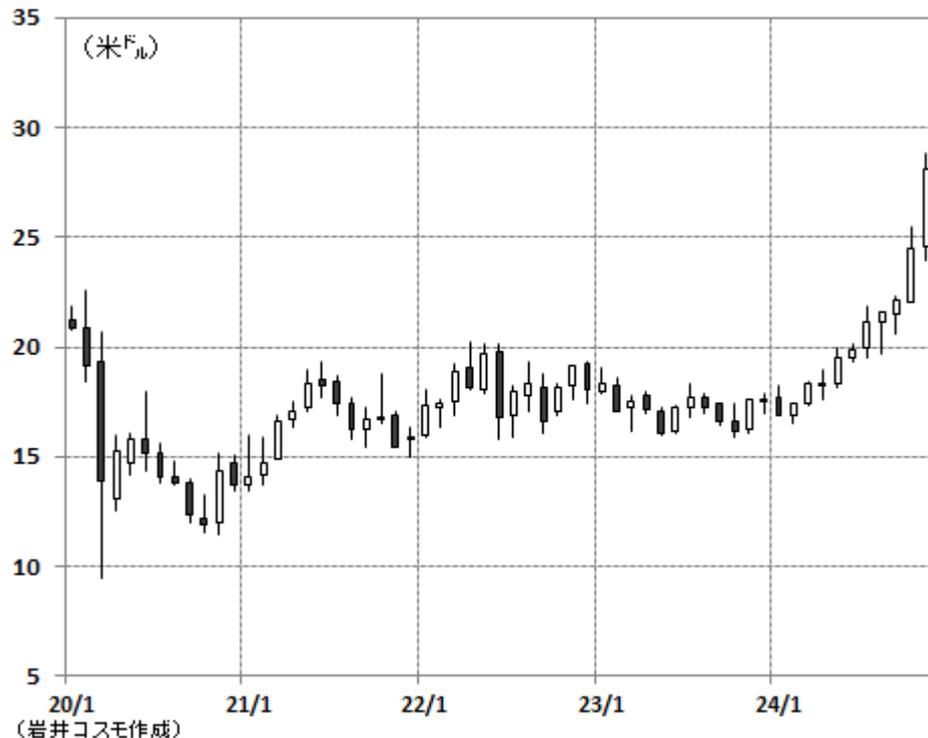
天然ガス等のパイプライン運営企業、電力源としての天然ガス需要増に期待

会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6~7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

- 天然ガス需要増を楽観視**: 天然ガス価格は低迷するが、会社側はAIの運用やデータセンター向けの電力源として天然ガス需要が高まっていると楽観視。天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増加すると予測。今期はテキサス州の天然ガスパイプライン「STXミッドストリーム」の買収が増収要因として寄与している。
- トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ次期大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。同社にとってトランプ氏の大統領返り咲きは、規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが期待される。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	28.07 ( 11/27 )
52週高値(日付)	28.81 ( 24/11/22 )
52週安値(日付)	16.475 ( 24/02/13 )
時価総額	624億ドル 9兆4,222億円
株価変化率(%)	47.2 (過去6ヶ月間) 62.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	26.2 (倍)
株価売上高比率	4.1 (倍)
PBR	2.1 (倍)
税前提当利回り(%)	4.10 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	1.8 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	8.3 (%)
株式ベータ	0.74 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	19,200	16	4,065	39	2,548	43	1.12	1.11
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13
四半期業績								
2023/Q3	3,907	—	938	—	532	—	0.24	0.2825
2024/Q3	3,699	-5	1,015	8	625	17	0.28	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 株式投資に関するご留意事項

### ◆手数料等について

#### ■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。  
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

#### ■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

#### ■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

### ◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。